

すくすく

# たけのこキッズ 第17号



川崎こどもクリニック

〒597-0102 貝塚市木積656-7

電話：0724-21-2033

http://www.kawasaki-kc.jp

平成17年9月14日発行

## 喘鳴のある児 増える



夏から秋へ季節が変わる時期、また台風が来たりするこの時期は喘息の子どもさんが増えます。また、朝晩は気温も下がり風邪を引きやすくなって来る時期でもあります。このような風邪の子どもも含めて、喘鳴のある場合は早めの吸入が効果的です。

学校や幼稚園など運動会の練習でそろそろ疲れが貯まってきているはずですが、それ以外の行事も続きます。くれぐれも体調管理には注意しましょう。

## 救急蘇生のあいうえお

9月9日は救急の日です。その前後に全国各地で救急関連のイベントが行われます。貝塚市でも去る10日に貝塚市医師会や貝塚市消防本部が岸和田徳洲会病院救急部などの協力を得て救命救急講習会が実施されました。昨年7月より非医療従事者による自動体外式除細動器（AED）の使用が可能となっており、今年からはAEDについても講習内容に含まれるようになりました。除細動というより電気ショックという方がなじみがあるかもしれませんが、AEDという器械はこの徐細動が必要な状態かどうかを自動で判定し徐細動を行います。当院でも万が一の対応ができるようにAEDを設置することになりました。ただ小児ではこういう状態になることは少ないので、院内の備品として置いておくのではなく町内の行事や祭礼などにできるだけ持ち出すことを考えています。



さて医療従事者なら誰でも知っている「救急蘇生のABC」という救急蘇生の順番を示した言葉があります。しかし、これは英語をもとにしていますので、素人にはわかりにくい面もあります。これを広く一般に子どもも含めて覚えやすいように埼玉県の天野教之先生が「救急のあいうえお」として作られたものを私なりに改変しました。当初は、AEDはありませんでしたのでそれも加味しています。声に出して読んでみると5-7-5-7-5のリズムで覚えやすいと思います。覚えておけばどこかで役に立つことがあるかも知れません。

**あ**；顎あげて（気道確保）

**い**；息吹き込んで（人工呼吸）

**う**；動かそう（心臓マッサージ）

**え**；AEDと（除細動）

**お**；応援も（介助者の確保、救急隊への通報など）

## IT時代の受診の仕方

診察室へ入られるとたいてい最初に医師から「どうしました？」とたずねられることと思います。熱については体温計で測っていることもあって、かなり正確な情報が伝えられます。ところが他の症状に関しては情報の精度が低下しがちです。例えば咳で困るのが「変な咳が出ます」というものです。こちらからいろいろ説明して咳の状態を聞いてもはっきりしないこともあります。そんなときには咳を録音して来ていただくというのはどうでしょうか。歩き方や、けいれんかどうか判らないブルブルならばビデオを撮って見せていただくのも一案です。最近の携帯電話はそのような機能が付いていますから、活用すればどうでしょう。下痢便のついたおむつ、気になる尿など診断の参考になる資料があれば何でもお持ちになって受診してください。



## 子どもの叱り方を考える

待合いで騒いでいる子どもに対して「そんなことをしていたら看護婦さんに注射してもらおうよ」。電車の中で「静かにしてないと車掌さんにおこってもらおうよ」。道でゴミを捨てた子どもに「警察のおじちゃんが捕まえに来るよ」。おかしいと感じませんか。どうして「\*＊\*とはいけません」と言えないのでしょうか。

特に「看護婦さん（お医者さん）に注射してもらおう」というのはやめて欲しいと思っています。病院、医院では病気を治すため、あるいは病気を予防するために注射をすることはあります。でも子どものしつけやせっかんのために注射をすることはありません。健康維持のため必要な予防接種に来た子どもが「僕、何にも悪いことしてないのに、何で注射されなあかんのん？」ということがあってはならないと思います。



## インフルエンザワクチンの予約

当院では13歳未満1回2500円で1～4週間（出来れば3週間以上）あけて2回接種（計5000円）、13歳以上1回3000円で接種は原則1回のみという方向で接種を致します（価格はいずれも税込み）。小児優先で接種を進めていきますが、ご両親や高齢者の方なども接種できます。予約は9月20日、接種は10月15日からです。流行が始まる可能性のある12月初めには接種が完了するよう計画して予約して下さい。また、乳幼児で他の予防接種などと時期が重なる場合などお気軽に御相談下さい。